

平成 19 年度 大分県立看護科学大学アニュアルミーティング プログラム

日時：平成 20 年 3 月 6 日（木）9 時 25 分～ 16 時 15 分

場所：大分県立看護科学大学 23 講義室

1. 開会挨拶 自己評価委員会委員長 赤司 千波
 2. 演題
- セッション I (9 時 30 分～10 時 45 分)**
- 1) 独居高齢者の生活見守りシステムの開発 品川 佳満
－実用化に向けた取り組み－
 - 2) フィジカルアセスメントにおける口腔観察の意味 安部 恭子
 - 3) 森林歩行のストレス低減効果 稲垣 敦
 - 4) マタニティビクスの精神的効果 宮崎 文子
－ビアンカ Z (ストレス測定器) を使用して－
 - 5) 精神科病院機能の評価に関する研究 平野 亙
－「あるべき姿」の議論に基づく評価マトリックスの設定－
- セッション II (11 時 00 分～12 時 15 分)**
- 6) ディーゼル排気微粒子抽出物が誘発するアトピー性皮膚炎 定金 香里
増悪作用における TSLP の関与について
 - 7) 尿毒症物質と骨代謝 岩崎 香子
 - 8) 放射線誘発 DNA 初期損傷の修復動態に関する研究 小嶋 光明
－バイスタンダー効果による損傷が修復されない可能性の検討－
 - 9) クリングルの生理機能部位と分子形態的特徴 高橋 敬
－タンパク質・データベース (PDB) を用いた生命情報学的研究－
 - 10) マウス白血病特異的遺伝子変異の in vivo スクリーニング 伴 信彦
- セッション III (13 時 30 分～14 時 45 分)**
- 11) 小児看護学実習における看護技術の実態と学内演習の課題 田中 美樹
 - 12) 大分県自殺実態基礎調査の概要 影山 隆之
 - 13) 在宅終末期がん患者家族に対する訪問看護師の援助内容の分析 安東 恵子
 - 14) ボランティアに生きるある余命を宣告された方から得られた 河野 梢子
－ケーススタディーボランティアの意味に注目して－
 - 15) An Analysis of English Language Entrance Examinations Gerald Shirley
at Japanese Nursing Colleges and Universities
- セッション IV (15 時 00 分～16 時 15 分)**
- 16) アスベストによるマウス雄性生殖機能への影響 吉田 成一
 - 17) 肘屈曲動作における効率的な力発揮 吉武 康栄
－より負担度の少ない介助動作の開発を目指して－
 - 18) 「大学間」「ライブ型」「遠隔講義」における学習環境の構築 吉村 匠平
 - 19) 平成19年度「野津原プロジェクト」活動報告 桜井 礼子
 - 20) 本学における NP 教育のスタートにあたって 赤司 千波
3. 講評と閉会挨拶 大分県立看護科学大学学長 草間 朋子